

あなたの「まなび」をナビゲート！ enjoy lifelong learning

ma·navi

鳥取県生涯学習情報誌



メンバーのかわいい愛車と共に撮影

特集

好きなことで まちを元気に

Kisaichi Trail Works Tottori

- 04 私たちの活動をご紹介します！
わたげの会(三朝町)
- 05 とっとり県民カレッジ連携講座情報
(11・12月)
- 23 社会教育・生涯学習担当者紹介(三朝町)
- 24 とっとり県民カレッジ講座を開催しました
- 25 鳥取県立生涯学習センター(お知らせ)
- 27 みてみて♪こんなしとするで～



スピードに乗って走る様子は、見ているだけでも爽快感抜群

好きなことで まちを元気に

～ Kisaichi Trail Works Tottori ～

地域にあるものを活かして魅力を生み出す、「好き」から始まる活動。
Kisaichi Trail Works Tottori の取組について、メンバーのみなさんにお話を伺いました。

マウンテンバイクで公園を魅力化

八頭町私都^{きさいち}にある、安徳の里・姫路公園。そこに集まるのは鳥取県東部のマウンテンバイク愛好家で作る団体「Kisaichi Trail Works Tottori (以下、「KTWT」という)です。公園内にはKTWTが整備した初心者向けのコースがあり、子どもも大人もマウンテンバイクの楽しさを体験することができます。

KTWTの代表を務めるのは田中洋平さん。2020年の3月に、個人で動くより団体として動いた方が良いという総意のもとKTWTは発足。当初は田中さんと同じく、「鳥取マウンテンバイク友の会」に所属する、西根さん、橋本さんの3人で始めました。現在は6名で、マウンテンバイクに乗るのを楽しみながら、専用コースの整備や試走等を行っています。

田中さんは、「姫路公園の指定管理者が『スロークラブ八頭』^{※(1)}に変わるタイミングで、姫路公園をもっと魅力的にするにはどうしたらよいかを話し合う場に、声がかかって。例年催される森

林組合の祭りで、『鳥取マウンテンバイク友の会』としてブースを出していた繋がり」と活動のきっかけについて振り返ります。

KTWTは、姫路公園とは別に、近くの山も上級者用のコースとして整備中です。「山道など私道を走る上で問題になってくるのは、地権者の問題なんです。八頭森林組合の前組合長の協力を得て、各土地の地権者の方に利用目的を説明し、林道だった場所をマウンテンバイクが走行できる専用コースに整備する許可をもらいました。今はここを集中して整備しています」と続けます。



マウンテンバイクとは

山道などの不整地(オフロード)を快適に走るために作られた専用の自転車。通常の自転車より太いブロックタイヤが特徴的で、軽量化に耐衝撃性、走行性および乗車姿勢の自由度等の向上を図った構造となっている。

マウンテンバイクは なんとオリンピック競技!

マウンテンバイクの種目の1つ、クロスカンントリーは自然の中に作られた山道を走り、一斉にスタートした選手たちがその着順を競うオリンピック競技です。コースの中には1人通るのがやっとの非常に狭い道や岩場も含まれ、ダイナミックで、ハラハラドキドキするレースが繰り広げられます。東京五輪では過去のオリンピックよりも難易度が高い、1周4.1kmのコースが設定されました。

スリル感と非日常を体験できる

マウンテンバイクの魅力をKTWTメンバーに聞くと、「スピード感やちょっとしたスリル感など、非日常を気軽に体験できる」と皆さん口を揃えます。実際、マウンテンバイクの愛好家は、年々増加傾向にあり、国内でのマウンテンバイクの年間販売台数は、30~60万台に達します。[(社)日本自転車協会 調べ]しかし、日本の山は地権者問題や国立公園の指定等の規制があり、山林がハイキングコースとして整備されることはあっても、マウンテンバイクユーザーのために整備されるということが難しいのが現状です。

それでも、「長野県には、ハイキングもトレイルランもマウンテンバイク乗車もできるオープントレイルがあるんです。県が独自に許可し、観光資源としても活用されています」とマウンテンバイクで地域活性化が行われている事例を挙げます。

毎日が試行錯誤の連続

「好きなマウンテンバイクでまちを元気にしたいと口では簡単に言えますが、想いがあっても、実際にコース案を考えたり、目標を持って活動したりするのは、試行錯誤の連続です」と田中さん。コロナ前は、西根さんと橋本さんの二人で、県外でマウンテンバイクの専用コースを整備しているところへ学びに行ったことも。現在はコロナ対策のため、メンバーとオンラインで意見交換をするなどの工夫もしています。「僕らみたいな、良い意味で変な人が意外といっぱい集まるんですよ。山に道を造りたいみたいな人が。それで、それぞれの人がやっている活動をシェアしたりして」と、活動の幅が広がっていることも教えていただきました。

海外での経験を、八頭町へ

「マウンテンバイクが盛んな欧米では、トレイルをみんなでシェアしよう!という気持ちがあるんですよね」と話すのは、カナダのバンクーバーに3年間住んでいたことがある西根さん。「バンクーバーはアウトドアの町で、自転車パラダイス。少し北に大きな山があって、そこはマウンテンバイクのメッカみたいになっていました。夏には世界中から観光客が集まって、それこそ、1週間続く大会みたいなのもあって」と、海外での経験を話します。八頭町にも豊かな自然が残り、山林がたくさんあるのだから、これを活かし、姫路公園でのキャンプとマウンテンバイクを掛け合わせるなど、地域を盛り上げるための模索を続けるKTWT。マウンテンバイクの魅力をいろいろな人に知ってもらいながら、「地域にあるものを活かして、地域の活性化をしたい」と先を見据えます。

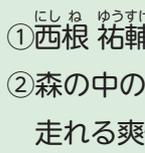
KTWTのメンバーにインタビュー!!

- ①氏名
- ②マウンテンバイクの魅力



ふくむら よしゆき
①福村 義之さん

- ②予測不能な状況での達成感と、失敗して転んでも大笑い出来るところ



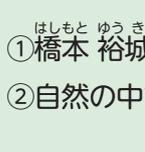
にしね ゆうすけ
①西根 祐輔さん

- ②森の中の不安定な悪路を安定して走れる爽快感



たなか ようへい
①田中 洋平さん

- ②自身の感覚をフルに使って操る楽しさとワクワク感



はしもと ゆうき
①橋本 裕城さん

- ②自然の中で過ごす非日常



しよの ともゆき
①正野 智之さん

- ②バランスとスリル



メンバーでコースを整備!



木材のカットの仕方などは、全て独学の動画配信サイト等を見ながら学んでいます。

一日わずか数メートルしか進まない作業は、地味で苦労も多い。それでも、作業を続けるのは「走って楽しいトレイルを作りたいから」と話すマウンテンバイク愛にあふれるメンバーたち。

昨年の11月には、参加者を公募し、DIG&RIDE（整備&乗車）のイベントを実施。集まった参加者と一緒中山道を整備した後、マウンテンバイクでの試走も行いました。

いつも整備の後は、それぞれの愛車で試走します。



スローライフクラブ八頭 ^{みあさ}三浅さんから、

KTWTへメッセージ

鳥取駅から約25kmの姫路公園山中で、利用されなくなった林道にダウンヒルコース2.5kmが完成しました。私たちスローライフクラブ八頭は山林地権者との調整役を担いました。既存の物を活用して観光資源化することは、

世界的潮流であるSDGs（国連が提唱する持続可能な開発目標）そのもの。アフターコロナに観光の呼び水となると期待しています。これからもイベント運営のノウハウの提供や広報等で協力し、KTWTを応援したいと思います。

※お願い…このコースは上級者コースです。初心者の方は、基本を学んでからお越しください。

※(1)スローライフクラブ八頭とは
八頭町内の豊かな自然のなかで、「田舎暮らし」を楽しみ、既存の観光資源を活用しながら都市と農村の交流を通じたスローライフ活動に取り組んでいる。

連絡先

Kisaichi Trail Works Tottori

一緒に、マウンテンバイクのスリルとおもしろさを体感しませんか!

※ Facebookからお問合せください。→



安徳の里・姫路公園って、どんなところ?

テニスコートやバーベキューハウス、キャンプ場などを備えた総合アウトドア施設。マウンテンバイクをはじめ、様々なアクティビティを楽しむことができます。

問合せ先：安徳の里・姫路公園 私都荘

(12月1日～4月下旬の間は休業)

〒680-0301 鳥取県八頭郡八頭町姫路12

TEL 0858-74-0302



